src: ／情報提供・公開関連／情報関連.xls　Flow02

情報収集・活用

2006/3/22 by H.Miya

路上の1円は 誰も拾わない
3億円輸送は 誰かに襲われる！ ･････････ 情報の価値

情報収集（量/質 効率） ⇒ 知識 ＋ ⇒ 知恵 ⇒ 処理活用（量/質 効率） ⇒ 提言・提案

整理・収集効率
手作業：紙面・・紙写し（紙コピー＝ハードコピー）
⇩
機械化：電子化・・電子化書面（電子コピー・表示画面＝ソフトコピー）
＝＝＝＞＞　大量情報処理
＝＝＝＞＞　資源（紙）消費軽減

信憑性
有用性
有益性
重要性
機密性

分析・解析処理効率
書き写し：誤作業
⇩
自動化：大量情報処理

信頼性
敏速性
操作性
} 電子化

情報入手

行政情報

区分：
- 閲覧済／公知済／公表済 ･･･ 公開済
- 未公知／未公知／未公表 ･･･ 未公開

請求方法：
- 情報提供依頼（窓口・電話・Fax・郵便・電子郵便）
  市民の請求・・権利
  行政の提供・・義務
- 情報公開請求（窓口・Fax・郵便・電子郵便）
  情報公開請求・・市民の選択権

機密性：
- 提供･･･ OK
- 公開･･･ OK
- 公開･･･ No

通　常　書　面 ･･･ 機密性なし

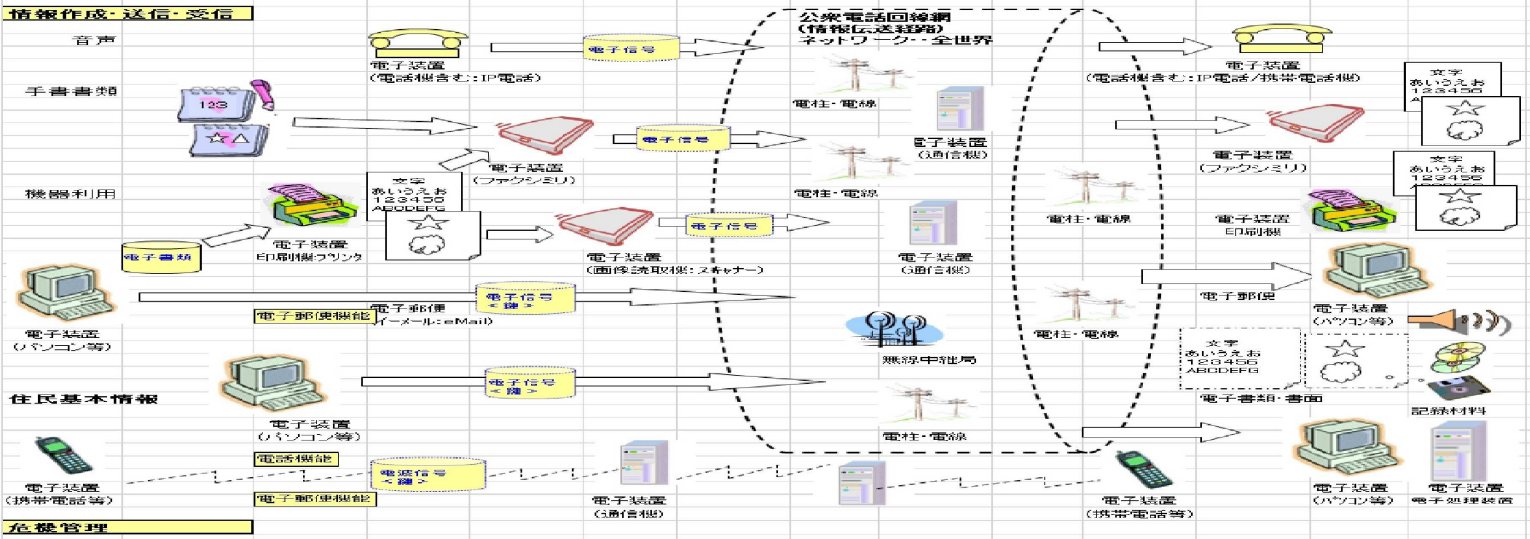
支払方法：
- ＜紙写し／窓口＞ 窓口・現金書留 ･･ 10¥/A4　会計区分＝一般事務諸経費（人件費として計上なし）
- ＜紙写し／郵便＞ 窓口・現金書留 ･･ 10¥/A4　会計区分＝一般事務諸経費（人件費として計上なし）
- ＜原本/Fax＞　???
- ＜原本/電子郵便＞　???

提供手段：

＜　送り手　＞	＜　受け手　＞
原本・・電子装置（印刷機）・・紙写し／窓口	紙情報・・・処理
原本・・電子装置（印刷機）・・紙写し／郵送	紙情報・・・処理
原本・・電子装置（Fax機）・・電子符号／電話回線	電子機器（Fax装置）・・・紙情報・・・処理
原本・・電子装置（電算機）・・電子符号／電話回線	電子機器（電子装置）・・・表示装置 ・・・自動処理（プログラム） ・・・加工/印刷装置・紙情報

				機密保持対策？	移動・伝送経路	危機？
郵便	書面・物品	現物移動	ハガキ・封書・書留	郵便物鍵？・私書箱	郵便局・一般公道	成済まし・抜き取り・盗み見・誤配送・紛置・無配達
電話	音声	電子符号移動（通信）	電話番号	？？	公衆電話回線網	成済まし・誤番号・回線盗聴・傍聴
ファクシミリ	書・図・画	電子符号移動（通信）	電話番号	？？	公衆電話回線網	成済まし・誤番号・回線盗聴・傍聴
電子郵便	書・音・図・画	電子符号移動（通信）	電子郵便番号	符号化・鍵	公衆電話回線網	成済まし・回線盗聴・危険郵便物（ウィルス/スパイウェアー）
現金輸送	現金・証券	現物移動	警備員	警備・武装	公道	強盗・襲撃・偽装

情報作成・送信・受信



危機管理

送り手：情報発信源 ･･･ 信憑性 ･･･ 身元保証 ･･･ 認証
情報内容 ･･･ 正確性 ･･･ 符号化・秘密鍵 ･･･ 認証
送信経路：信頼性 ･･･ 符号化・秘密鍵 ･･･ 認証
装置性能 ･･･ 信頼性
受け手：操作者限定 ･･･ 権限 ･･･ 機密鍵 ･･･ 情報管理厳守
誤受信 ･･･ 限定受信・安全保持機能
保全装置 ･･･ 防犯装置 ･･･ 自己防衛・防弾服・防御服

} 機械的誤操作
人為的誤操作　／　人為的犯罪行為

成済まし？
抜き取り？
偽造？
盗聴・抜き取り？
誤動作・誤配信？
潜り込み？
危険情報紛れ込み？
嫌がらせ？

変装・偽装・オレオレ
泥棒・盗人
贋作・偽者・作り話
盗聴・傍聴・搾取
機械的誤動作・人為的誤操作
空巣鍵
危険小包
痴漢・追跡者

ビールス（virus）　電子的病原菌・ばい菌 ････装置誤作動・装置破壊　：危険物紛れ込み・混入
スパイ・ウェアー（spyware）　電子的盗聴・搾取菌 ････装置誤作動・情報搾取　：危険物紛れ込み・混入
スパム（spam）　電子的（豚肉の缶詰） ･･･ 嫌がらせ　：痴漢・追跡者（ストーカー）
ファイアー・ウォール（firewall）　電子的防火壁 ･･･ 外部侵入者監視　：門扉・証前・防犯装置

ファクシミリ　：　facsimile　（筆務・筆跡・絵画などの）正確な複写・模写
＜通信＞ファクシミリ/電送写真
コンピュータ　：　computer　電子計算機/装置　パーソナル･･･ 小型・小規模・限定機能・限定性能 ･･･個人向け
電子郵便：メール　：　eMail　電子的郵便、電子装置（コンピュータ/形態電話等）を用いた音声・文字・画像伝送
フォルダー　：　folder　紙挟み、書類挟み、（束ねるもの、分類・区分するもの）
ファイル　：　file　（手紙・書類などの）綴込み、書類整理箱、電子符号化した書類

フォルダーA （歴史関連書籍棚）
- ファイルA1 「書籍」
- ファイルA2 「書籍」
- ：
- ファイルAn 「書籍」

フォルダーB （法律関連書籍棚）
- ファイルB1 「書籍」
- ファイルB2 「書籍」
- ：
- ファイルBn 「書籍」

情報の符号化

目的
- 「量」の軽減・圧縮
  - 高速化　例：モールス符号など
    音声・画像・映像のデジタル化
- 「質」の高度化
  - 高品質　例：再生・再現性の高性能化
  - 安全性・・・暗号化　例：機密の保護、（防犯錠前、安全弁など）

路上の1円は 誰も拾わない
3億円輸送は 誰かに襲われる！ ･････････ 情報の価値